

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		PARCひがしおおさか			公表日		2025年 2月 6日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点		
環境 制・ 運 備 営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	○		色々な教具や支援の用具などを貸し出しを行ったりしています。	必要なものがあれば随時追加するようにしています。		
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		専門職（PT/OT/ST）や保育士など職種で関われるようにしています。			
業務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		適宜会議を行い、お子さまの振り返り等を行っています。	今後も必要に応じて目標設定の見直しを行うようにしていく。		
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		アンケート結果に対して、会議を行い関わっているスタッフ全職員で周知改善策などを検討しています。			
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		会議を毎週行っており、その中で業務改善に繋がるようにしています。	個別でも聞き取り等を行うようにしていく。		
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		今後必要性に応じて外部評価を行う予定にしています。		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		研修も適宜実施し、訪問スタッフの質の向上を図っています。	今後も定期的に研修会などの開催を行う予定にしています。		
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○		アセスメントに関しても、できる限り子どもが参加できるように配慮し子どもと保護者のニーズを確認するようにしている。			
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		児発管だけでなく支援者間で情報が共有できるように努めています。			
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○		支援先にも事前に保育所等訪問の事業の説明を行い、その際に訪問先施設担任からの意向も確認している。	今後も先生の意見を細かく聞けるようにしていく。		
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		職員間で計画も共有しその支援に沿って行えるように努めている。	適宜、計画に沿った支援が行われているか会議を行う。		
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		事業所におけるアセスメント表を用いて評価を行っています。			
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○		具体的な支援を行えるように努めている。			
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画も支援者間で共有し、随時保護者へのフィードバックにてニーズの再確認は行っている。			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		訪問スタッフ間で訪問前には情報共有を行うようにしている。			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	○		訪問後、報告書を職員間で確認し支援の内容を振り返るようにしている。	気づいた点を会議等で共有し、職員の意見を聞きやすい環境を作る。		
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○		先生の意向などを尊重して聴取するようにしている			
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○		毎回の支援内容を報告書に記載するようにしている。			
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		訪問毎に保護者へ聞き取りを行い、訪問の内容の確認や希望を確認するようにしている。			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		出来る限り支援に携わっている者が参加するようにしている。	必要性に応じて、複数人で参画するなどをしていく。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		訪問支援以外で連絡することが少ない状況である。	今後、保育所等訪問以外でも気になることがあれば連携をとっていけるようにしていく。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		○		就学時への移行時、情報共有を行うようにしている。	情報共有がもっと密にできるように場を設けていく。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○			外部研修にも積極的に参加できるように支援している。	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。		○			今後協議会への参加もしていく。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○			お子様の状況や問題点を把握して共有するようにしている。	保護者の方と違った認識にならないように随時訪問後に移行を確認しつつ進めていく。
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			個別通所も併設しており、併用利用のお子さまはペアレントトレーニングも実施している。	
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			契約時も丁寧な説明を心がけている。	不明な点があれば随時相談できるようにしている。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○			支援先にも事前に保育所等訪問の事業の説明を行い、その際に訪問先施設担任からの意向も確認している。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			保護者さまへの意見を確認するように機会を設けている。	訪問後に、随時保護者の方には家族の意向を確認するように努めていく。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○			丁寧な説明を心がけている。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○			面談が必要な場合は、支援者会議等の実施を相談支援員と連携し実施するようにしている。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		現状、保護者会等は開催できていない。	今後、保護者会等開催できるように検討する。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			保護者からの相談に対しては、迅速に対応するようにしている。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			定期的に受け入れ等の情報もHPも更新を行うようにしている。	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			個人情報の取扱いは十分注意している。	
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			配慮をしている。	
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○			訪問先での困りごとなどを丁寧に聞き取るように意識している。	今後も、保護者だけでなく訪問先の相談にもしっかりと寄り添えるように努める。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○			毎回行っていない。	必要性に応じて、通常のフィードバックとは別にカンファレンスを行うようにする。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○			家族へのフィードバックを口頭と報告書を用いて内容の共有を行っている。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			個人情報の取扱いには十分注意している。	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○			訪問先からの意見もしっかりと適切に応じられるようにしていく。	信頼関係を築けるように、訪問先でも先生からの相談を聞き取れる工夫を行う。

非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		実施している。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全管理が十分配慮された中で支援している。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットがあれば事業所内で共有している。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止研修を受けている。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		身体拘束を必要とする児童は現状いませんが、そのようなお子さまが利用になった場合適切に対応し計画にも記載します。	